

第1号墳の整備

第1号墳の整備は、古墳の保存を前提に、周囲の豊かな自然環境と調和を図りながら、人々が学び、つどい、安らぎ憩う場として愛着がもてるように、発掘調査の成果をもとに、平成26～令和6年度の11年にわたって実施されました。

まず、古墳全体に均等に土を盛り、斜面には土が流れ出すのを防ぐため、植物（コグマザサ）を植えました。そして古墳の形や大きさを目で見て体感できるように、上って見学するための階段を設置して周囲の園路を整備しました。後円部墳頂部には、発掘調査で明らかになった埋葬施設の位置を表示し、発見された埴輪のレプリカを設置しました。また、まわりの木や枝を切ることで、墳頂部からは相模湾に浮かぶ江ノ島、富士山を一望できるようになりました。



古墳全体に土を盛っている様子



古墳に上るために設置した階段



Nagaee-Sakurayama Ancient Tumuli



利用案内

・付近に駐輪・駐車場はありません。史跡にトイレはありません。駅周辺や蘆花記念公園等のトイレをご利用ください。
・史跡周辺は地域の方々の生活の場でもありますので、マナーをまもってください。

返子市側から

JR 返子駅
4番バスのりば
「葉桜」行
バス 約10分
「葉桜」下車
徒歩 約8分
葉桜住宅端の上り口
高さ約25m
徒歩 約3分
第1号墳

JR 返子駅
3番バスのりば
〔海岸回り〕葉山行
バス 約8分
六代御前まえ下車
バス 約1分
「富士見橋」下車
徒歩 約5分
蘆花記念公園内の上り口
高さ約90m
山道徒歩 約15分
六代御前の墓
右わきの上り口
徒歩 約3分
高さ約90m
舗装路徒歩 約15分
第2号墳

葉山町側から

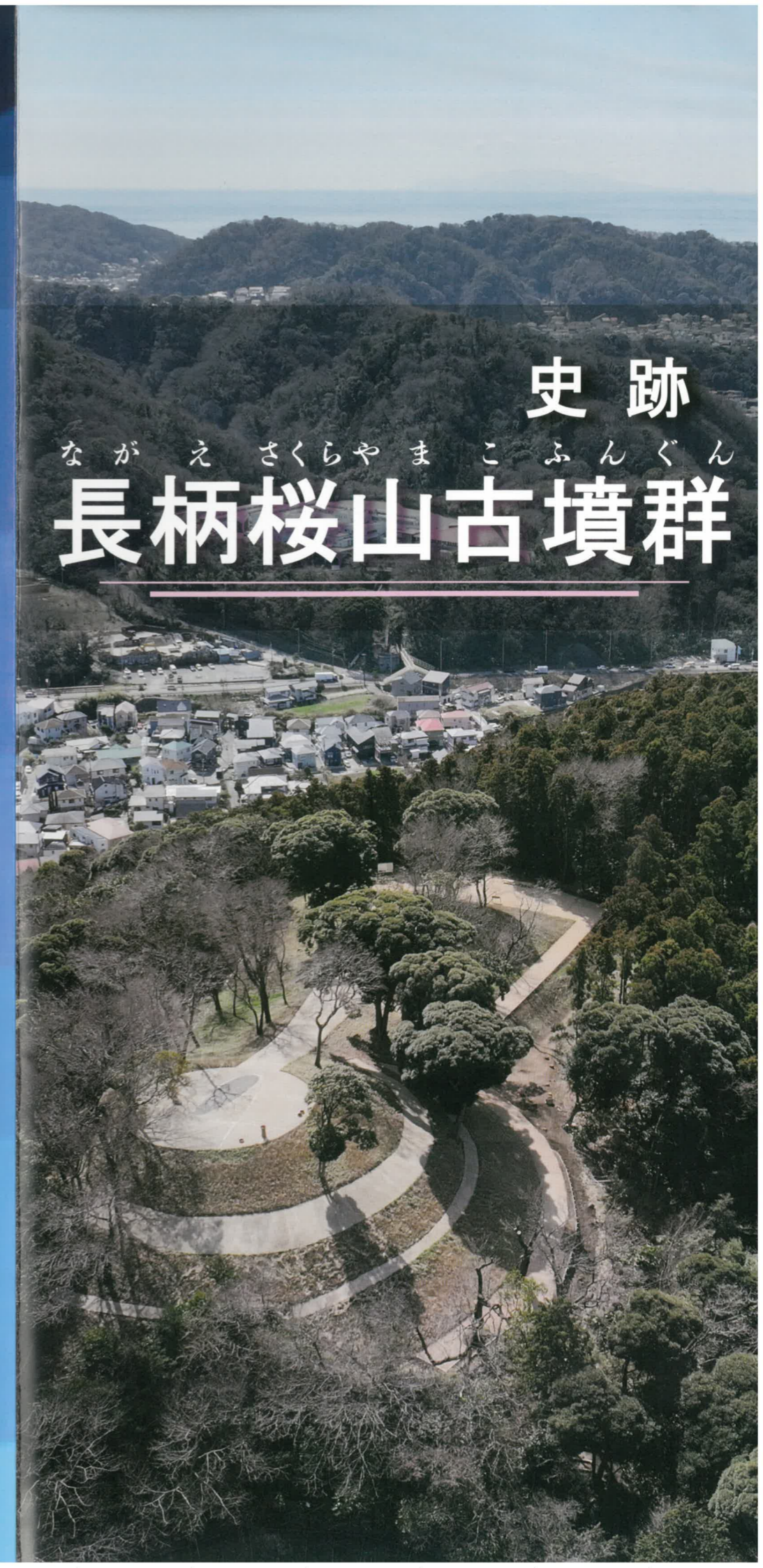
JR 返子駅
1番バスのりば
「衣笠」行ほか
2番バスのりば
「長井」行ほか
バス 約8分
「長柄交差点」下車
徒歩 約3分
桜山トンネル
脇の上り口
高さ約90m
山道徒歩 約15分

編集・発行 /

返子市教育委員会教育部社会教育課 TEL 046-873-1111 (代表)
〒249-8686 返子市返子 5-2-16

葉山町教育委員会教育部生涯学習課 TEL 046-876-1111 (代表)
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内 2050-9

史跡 ながえさくらやまこふんぐん 長柄桜山古墳群



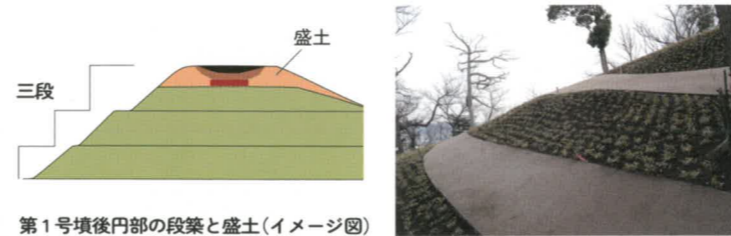


第1号墳の発掘調査でわかったこと

第1号墳は、階段状に造られているのが特徴ですが(段築)、自然の丘陵を削り出して古墳の形を整えたあと、その上に約1.5m土を盛って築かれています。第1号墳では円筒埴輪と壺形埴輪が見つかっており、後円部墳頂部からは円筒埴輪が並べられている状態で見つかっています。

段築

後円部は三段、前方部は二段に造られており、段と段の間にはやや平坦なテラスが巡っています。整備ではテラスが確認された位置を表示しています(通り抜けできません)。



第1号墳後円部の段築と盛土(イメージ図)

史跡長柄桜山古墳群

史跡長柄桜山古墳群は、4世紀後半頃(約1,600年前)につくられた2基の前方後円墳で、神奈川県で現存する古墳としては1番目と2番目の大きさです。

平成11(1999)年3月に、逗子市と葉山町の境にある丘陵上の現在の第1号墳で、近隣に住んでいた東家洋之助さん(故人)が埴輪を発見したことによって知られることになりました。

それまで古墳がほとんど見つかっていなかった三浦半島で新たに発見された、保存状態の良い大型前方後円墳であり、畿内と東日本を結ぶ太平洋側の交通の要衝にある重要な古墳群として、平成14(2002)年12月、国の史跡に指定されました。

第1号墳の特徴

全長91.3mの前方後円墳。神奈川県で現存最大の大きさです。

後円部は、左右で形が違っており、西側はきれいな円形ですが、東側は急でけわしい地形に合わせて、いびつな形になっています。これは、現在の逗子市街地がある田越川の流域や相模湾から古墳がきれいに見えるように造られたためだと考えられています。



埋葬施設

後円部の墳頂部には長さ約7mの落ち込みがあり、埋められた木棺が腐ってつぶれ、古墳の表面がへこんだ跡です(陥没坑)。陥没坑の脇からは、祭祀に使われた土器が出土しています。約1.5m下には粘土槨が見つかり(内部は未調査)。



発見された落ち込み

整備された埋葬施設の位置

埴輪

埴輪は古墳に並べるためにつくられた素焼きの焼物です。立て並べられた場所に、復元した埴輪を設置しました。底の部分がかろうじて残っていただけですが、出土した埴輪の破片から全体を復元しました。



並んで発見された埴輪

復元整備された埴輪

第2号墳の特徴

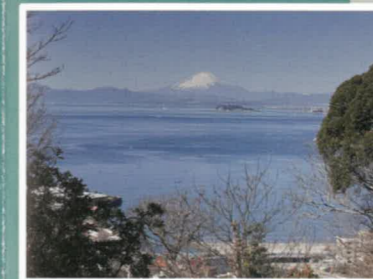
全長88mの前方後円墳。神奈川県で2番目の大きさです。

第1号墳から500mほど離れた丘陵の上にあります。第1号墳に比べると前方部が幅広で、後円部と前方部の高さにあまり差がないのが特徴です。第1号墳と一番違うのは、古墳の表面に石が貼り付けられていることです(葺石)。

第2号墳全体図



第2号墳で発見された葺石



第2号墳から望む富士山 蘆花記念公園・六代御前へ

長柄桜山古墳群周辺のムラ

田越川の中流あたりに、古墳群がつくられた頃のいくつかの集落遺跡(ムラ)が見つっています。遺跡からは儀式に使われた腕輪や銅製の矢じりが見つかり、ヤマト王権とその周辺から手に入れたとされています。

古墳群のある場所は相模湾と東京湾を往来するのに便利で重要な、人と物資の通り道でした。古墳群に埋葬された人物は海の交通を管理し、目立つ場所に作られた古墳は地域のシンボルになったと考えられます。



腕輪形石製品(逗子市持田遺跡出土)



銅鏡の破片と銅鏃(逗子市池子遺跡出土)